



きついことはある、
けれどそれも
愉しさの一部だ。

堀口俊文・美帆子
移住農家

外輪山の上、波野地区に移住してきた。夫は千葉、妻は東京の出身。二人ともこれまで農業とはまったく無縁だったが、二人が以前から都会の暮らしに小さな疑問を持ちつづけてきたのは事実だった。そして二〇二一年、東日本大震災が起きる。価値観がぐらりとひっくり返る衝撃が引き金となった。その年の暮れに移住を決める。「同年に熊本県を旅行したんです」。阿蘇の湧水の清さに度肝を抜かれた。だからここにやってきた。理由はそれで十分だ。都会に背を向けるなどという気負いはさらさらしない。自然のなかで大地と向き合って生きていきたいということに尽きる。いちばんはじめに作ったのは大豆だった。地域の人は優しい。ていねいに教えてくれて、しかも押しつけがましくない。やんわりと受け止めてくれる。熊本地震に直面して、当然多くのことを考えた。自分たちの非力さのことも。「半人前なのだから、自分たちの仕事を懸命に築くことが復興なのだ、と思うことにしました」と妻の美帆子さん。「農業は『業』だからやはり厳しいです」と夫の俊文さん。きついことはたくさんあるけれど、それも愉しさの一部なのだ。



阿蘇の土の鉄と、
農業とを
しっかりと繋ぐ。

阿蘇デザインファーム
山本剛宏

阿蘇の火山がはるかな時を超えて抱えつづけてきたものがある。褐鉄鉱リモナイトという堆積物だ。豊富な鉄分を含むこの土壌を活用し、二〇〇五年に農業生産法人が立ち上がった。デザインファームの命名にこめられた想いは、「土としての阿蘇をデザインしたい」である。代表者の山本剛宏さんは、大学では時代の先端をいく電子情報工学を専攻し、卒業後も精密検査機器メーカーの技術者として勤務していた。が、「自然がないと息が詰まる」ことを思い知る。そして故郷の阿蘇の土に取り組んでいく人生が始まった。着目したのが、中華料理や豚骨ラーメンの具としても馴染のあるキクラゲだ。土壌の大きな強みを生かした鉄分豊富なキクラゲはすぐに高い評価を受け、浸透した。スタッフの数が二〇二一年の東日本大震災で被災し、阿蘇の地に避難してきている人たちだ。だから熊本の震災に際して「会社を挙げて動こう」となった。仕事は中断。宮崎に届いた支援物資を受け取り、避難所ではなく各戸にそれぞれ配った。もちろん結束は強まった。「阿蘇の力は水と土と人の力です」。それを土台とした農業を推進していく。

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局（阿蘇市観光課）
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。

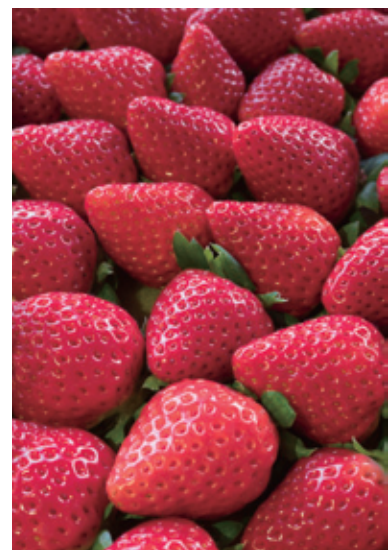
※ 掲載された内容は取材時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

- ④ 阿蘇の草原が国の重要文化的景観に選定！
- ⑥ 平成 29 年度 市政報告会 質疑応答
- ⑫ 市職員の給与などを公表します
- ⑭ まちの話題
- ⑳ 市役所からのお知らせ
- ㉒ 暮らしの情報
- ㉔ 年末年始の各種お知らせ
- ㉖ ふるさと応援寄附金事業が始まりました ほか
- ㉘ 阿蘇広域行政事務組合 平成 28 年度決算報告ほか
- ㉚ 人権作文 一の宮小学校 3 年 黒田 達^{たくま}さん
- ㉜ カルデラ暮らし vol.12
- ㉞ 阿蘇医療センター通信 No.26
- ㉠ 阿蘇サイクルツーリズム通信 vol.11
- ㉢ 図書館へ行こう！
- ㉤ 第 13 回阿蘇市読書感想文コンクール入賞者紹介
- ㉧ 暮らしカレンダー＆お慶びご寄付
- ㉩ 故郷で働く 阿蘇品 伸^{のぶ}二さん
- ㉫ 地産地消クッキング 豆腐まんじゅう
さわやかフレッシュマン 坂本 裕紀^{ひろのり}さん・脇添 玲^{れい}於^お那^なさん
- ㉭ 阿蘇フォト on Instagram

今月号の表紙

クリスマスケーキや年末年始の贈り物としてイチゴをよく見かける季節になりました。阿蘇地域のイチゴは「さがほのか」「ゆうべに」「恋みのり」の 3 種類、年間約 500 トンが生産されています。阿蘇は気温が低いいため、10 月下旬～6 月上旬まで長期に渡り高品質なイチゴが出荷されます。昼夜の寒暖差も大きいことから甘くなるのが特徴です。



市役所からのお知らせ

- ご自身の固定資産についてしっかりと把握されていますか？ [P20]
- 12 月 3 日から 12 月 9 日は「障害者週間」です [P22]
- 平成 30 年度 放課後児童クラブ入所のご案内 [P23]

くらしの情報

- 平成 30 年阿蘇市成人式のご案内
- あなたの山林、誤伐・盗伐大丈夫ですか？
- 阿蘇くまもと空港の香港線就航記念グループ旅行助成事業
- 危険物取扱者試験案内
- 12 月・1 月は農地等利用最適化推進強化月間
- 戸籍なんでも相談会
- 熊本県出身学生寮「有斐学舎」入寮生募集
- 放送大学 4 月生募集のお知らせ
- 「熊本復興応援ナース」を募集しています
- 熊本ハートウィークフォーラム観覧者募集
- 「生物多様性くまもとセミナー」受講者募集
- 政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

夢を追いかける青少年の声を届けます —

夢を追いかけて

昨年の熊本地震、10 月の阿蘇山の噴火、私はいろいろな災害を経験しました。その中で各県から応援に来てくれた自衛隊、警察、消防の方々の活動を見て、私も人の役に立つ仕事につきたいと思いました。

将来、私は、地域の安全や安心を守る警察官になりたいと思います。今、取り組んでいる陸上の経験をいかして、熊本のため、そして阿蘇のために貢献できるように努力したいと思います。

高 日 稚 菜

たかひ わかな／一の宮中学校・3 年